

日本企業初・コロンビア大学にてコーチング研究発表

～“システミック・コーチング”が
リーダー開発を通じて組織に及ぼす影響とは～

株式会社コーチ・エイ(東京都千代田区、取締役社長:鈴木義幸)は、2014年10月22日(水)、23日(木)にコロンビア大学(米国、ニューヨーク州)で開催される第一回“International Columbia Coaching Program Conference”にて、「システミック・コーチング⁽¹⁾が、クライアントとステークホルダー⁽²⁾にもたらす効果(仮)」(Systemic Coaching's Impact on Clients' Managerial Coaching Skills and Stakeholders' Engagement Behaviors in Their Work)について研究発表を行います。

■International Columbia Coaching Program Conference とは

今回、初開催となる同大会は、コロンビア大学に所属する The Columbia Coaching Certification Program と Teachers College Columbia University が後援するカンファレンスです。世界中の教育・研究機関や企業・組織からの80件以上のエントリーから選抜された約15件が、ペーパー、学習セッション、パネルディスカッション、ライブ・デモンストレーションなどの形で発表されます。マサチューセッツ工科大学(MIT)スローン校経済学部の名誉教授であるエドガー・シャイン(E. Henry Schein)氏や、米国有数のマネジメント・コンサルタントでコロンビア大学大学院組織リーダーシップ研究学科教授である W.ウオーナーバーク(W. Warner Burk)教授らが基調講演を行うなど、コーチングの有効性について様々な発表がなされる大変注目を集めるカンファレンスです。

■コーチ・エイの発表データについて

本カンファレンスでのコーチ・エイによる発表は、“システミック・コーチング”がリーダー開発を通じて、いかに組織に影響を及ぼすかの研究結果です。2012年から2014年に実施された「CSES」⁽³⁾と「CSAplus」⁽⁴⁾の2種のアセスメントから収集された60名のコーチ、538名のクライアントと3,150名のステークホルダーのデータを対象として行われました。コーチ・エイが保有するコーチング効果に関するデータ数は、世界でも類を見ない多さとなっています。

■元ICF副理事であるデイビッド マシュー プライヤー(David Matthew Prior)氏による推薦コメント

コーチングのスペシャリストで Board Certified Coach、Master Certified Coach、CCCP の主幹教員でもあるマシュー プライヤー氏は、次のように述べています。

「私は長年にわたり、コーチ・エイが組織変革とエグゼクティブ・コーチングの分野においてアート(人と人の関係性)とサイエンス(研究)の両側面から、グローバル・コーチング・ファームとしての地位を確立した過程を見てきました。コーチ・エイは今後も、その専門性と情熱によって信頼性と実力を継続的に高め、独自性を持つプロフェッショナルな集団になっていくと期待されます」

■発表概要

発表日時: 2014年10月23日(木) 13:00～ Concurrent Sessions – Round 2
発表タイトル: “Systemic Coaching's Impact on Clients' Managerial Coaching Skills and Stakeholders' Engagement Behaviors in Their Work”
発表者: 株式会社コーチ・エイ / コーチング研究所 LLP 番匠武蔵
株式会社コーチ・エイ 執行役員 塚本弦エイドリアン

■大会開催概要

カンファレンス名: The 1st International Columbia Coaching Program Conference
テーマ: "Space as Context" for Executive and Organizational Coaching
会期: 2014年10月22日(水)、23日(木)
会場: Teachers College on the Campus、コロンビア大学
詳細: <http://www.tc.columbia.edu/coachingcertification/index.asp?Id=Announcements&Info=1st+International+Columbia+Coaching+Conference>

注

- (1) システミック・コーチング：
コーチ・エイが独自に開発した、エグゼクティブを起点として、組織全体の能力開発を可能とする独自のコーチング。その成果は、エグゼクティブ自身の変化、その周囲への波及効果、その結果としての組織の生産性の変化として具体的に測定され、定期的にフィードバックされます。組織内の誰か一人がコーチングの影響を受けるのではなく、その人の周りにいる人全員がコーチングの影響を受けることで組織全体にインパクトを与え、これまでに多くの企業・組織で実績を生み出している。
- (2) ステークホルダー：
コーチングを受けるクライアントの上司や部下、同僚などの関係者。
- (3) CSES (Coaching Skills Evaluation System)：
コーチとクライアントとの間で行われたコーチングの成果を数値的に評価し、コーチが自身のコーチング・スキルへのフィードバックを客観的に得ることを目的としたシステム。コーチングの成果の客観的な測定を可能にしている。
CSES サイト URL: <https://cses.crillp.com/login>
- (4) CSAplus：
リーダーシップ開発プログラムの一環として対象者のコーチングスキルを 180 度評価で測定し、リーダーに必要な姿勢・行動や職場の状況を明らかにするアンケート調査。

■株式会社コーチ・エイ

社名： 株式会社コーチ・エイ(英文表記: COACH A Co., Ltd.)
所在地： 東京都千代田区九段南 2-1-30
海外事業拠点： ニューヨーク、上海、シンガポール、香港、バンコク
取締役社長： 鈴木義幸
ホームページ： <http://www.coacha.com>

■株式会社コーチ・エイについて

コーチ・エイは、「自ら変革を生み出し、変革を推進するリーダーの開発」を通して、1700 社以上の組織や企業の価値創造に向けた活動を支援するグローバル・コーチング・ファーム。ニューヨーク、上海、シンガポール、香港、バンコクの海外拠点を起点に、「組織変革型」のコーチングである独自の「システミック・コーチング」を多言語で提供。IT技術を駆使した最先端のコーチングや、コーチング研究所(CRI)が設計、蓄積するアセスメントやデータをもとに、コーチングのプロセスにおける変化や成果をリアルタイムに検証する「エビデンス・ベースド・コーチング」が大きな特徴。

■コーチング研究所 LLP (CRI)について

コーチング研究所 LLP(CRI)は、株式会社コーチ・エイの出資によって発足した、組織の「人と人」の関係性に着目したリサーチ機関。約 800 社 12 万名以上に調査を実施し、リーダーシップや組織の状態を可視化するリサーチから蓄積された大量のデータをもとに、コーチングの効果を高める研究やコーチ・エイのプログラム開発を行う。

本件に関するお問い合わせ

株式会社コーチ・エイ 広報：大谷／安岡
TEL: 03-3237-8050 FAX: 03-3237-8817
E-Mail: tm_pr@coacha.com URL: <http://www.coacha.com/>